

感 染 拡 大 注 意 報

新型コロナウイルス感染症の感染まん延が改善してきましたが、人流が増えて感染者数の減少も底を打ちつつあり、さらに新たな変異株の影響を警戒すべき状況でもあります。また、ワクチンの接種が進み、感染しても症状が出ない場合も多いため、無症候感染が広がりやすい状況にもなっています。

医療保健系大学の一員としての役割を自覚し、責任を持った行動に努めてください。感染すると多大な影響を及ぼすことから、ワクチン接種後であっても、自らの行動をいっそう慎重にするよう引き続き求めます。

感染拡大警報を注意報に緩和しますが、改めて「学生における新型コロナウイルス感染症の対応指針(第7版)」を熟読し、毎日の体調管理に十分に留意して下さい。

【リバウンド防止7ヶ条】

1. 家庭内を含む日常生活での感染症対策を徹底しましょう（手指消毒、手洗い、マスク着用、フィジカルディスタンス、換気等）。
2. 対面による会食は同居している家族等の最小限に限りましょう。学内での食事も、会話を控えて「黙食」に努めましょう。
3. 自治体のガイドラインや要請に従わない飲食店の利用は避けましょう。
4. 自治体のガイドラインや要請に協力しない飲食店でのアルバイトは、医療保健系大学の一員として不適切ですので避けましょう。
5. ワクチンを接種した後でも「飲み会」や「カラオケ」などリスクの高い行為は避けましょう。
6. 大学から指示があった場合はもちろん、都県を跨ぐ移動をする場合は積極的に、PCR検査を受けましょう。
7. 不特定多数の人が参加するイベントへの参加は、主催者側の感染対策を確認し、十分注意しましょう。

2021年12月1日

東京医療保健大学長 亀山 周二